



再生材料を使用・59%
スラグ、石炭灰

NCソリッドG

(ポリマーセメントモルタル)

下水処理施設補修用断面修復材 (耐酸モルタル)

特 長



荷姿：25kg紙袋

NCソリッドGは、細骨材として当社独自の球形化技術にて特殊加工した高炉水砕スラグを配合したセメント系プレミックス(一材型)ポリマーセメントモルタルです。高炉水砕スラグ細骨材を配合することで材料がより緻密な構造となり、耐酸性等、各種物性に優れ長期安定性を発揮する下水処理施設補修の断面修復材として最適の性能を有した作業性の良い材料です。

製品仕様

適用部位	下水処理場、下水ポンプ場、下水管渠、コンクリート・モルタル構造物欠損 等		
適用下地	コンクリート、モルタル		
練り上がり量	13.1ℓ		
標準使用量(1袋)	約0.43㎡(30mm厚)	標準使用量(1㎡)	約77袋

配合比 (重量比)	NCソリッドG	水道水	標準練り上がり量	標準施工面積
1袋あたり	25kg	3.6~4.2kg	13.1ℓ	0.43㎡(30mm厚)
1㎡あたり	1925kg(77袋)	277~324kg	1000ℓ	-

二瀬窯業(株) 試験室

試験成績表

<ご注意>
右記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

項目 [単位]	試験結果	品質	
曲げ強度 [N/㎠]	(材齢3日)	5.0	3.0以上
	(材齢28日)	8.2	7.0以上
圧縮強度 [N/㎠]	(材齢3日)	32.9	25.0以上
	(材齢28日)	52.0	45.0以上
接着性 [N/㎠]	(材齢28日)	2.2	1.5以上
長さ変化率 [%]	(材齢28日)	0.08	-0.1以上
耐硫酸性 [%]	7.5	5%の硫酸水溶液に28日間浸漬した時の重量変化率が±10%以内であること。	
硫酸浸透深さ [mm]	2.2	5%の硫酸水溶液に28日間浸漬した時のフェノールフタレインの非呈色深さが3.0mm以下であること。	

・試験方法は、断面修復用モルタルの品質規格(地方共同法人 日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」掲載)
・試験環境：温度：20±2℃、湿度：60±10%

施工手順

下地処理 下地のぜい弱部分や硬化不良部、劣化部位等は除去し、健全な下地を露出させてください。
 予め防錆処理や剥落防止措置等を行ってください。
※浮き・剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

プライマー処理 専用プライマーを施工面に塗布してプライマー処理を行ってください。
※ムラ無く丁寧に塗布してください。

調合 下図の通りに調合し、モルタルミキサー等で練り残しのない様によく混練してください。
※外気温、水温等により可使時間や施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で調整してください。
※練置きは夏期20分、冬期40分以内とし、練足し、水を加えての練り戻しはしないでください。



施工 施工面に対し、十分にコテ圧をかけてしごき塗りを行った後、追っかけにて塗り付けてください。一回の塗り付け厚さは15mm程度を限度としてください。
 基準厚さに到達するまで数回に分けて施工を行ってください。

養生 施工後、直射日光・風等を避け、必要に応じて、シート掛け養生等を行ってください。また、施工後、降雨・降雪の恐れがある場合にもシート掛け養生を行い、特に寒冷時には保温養生を行ってください。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

1. ご使用にあたってはマスク、手袋、防塵マスク等を使用してください。
2. 目に入った時は、清浄な水で洗眼した後、直ちに医師の手当てを受けてください。
3. 飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受けてください。
4. 材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレット等を使用して湿気を避け、直接日光や雨掛のないようシート掛けなどを施してください。
5. 降雨・降雪時の施工は行わないでください。
6. 気温5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
7. 酷暑時には、材料の練上がり温度が概ね30℃以下になるよう、練水に冷水を用い、また寒冷時には、温水を用いる等の対策を講じてください。
8. 固くなったモルタルへの再加水は行わないでください。
9. NCソリッドGには練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
10. NCソリッドGは硬化前の雨水等による漏れは、白華（エフロレッセンス）の原因となりますので注意してください。
11. NCソリッドGの品質保持期間は製造後6ヶ月です。



NCソリッドGは安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20231214.21